企業出題の難問に生徒挑戦

桐生大付属中キャリア教育

創造性・生きる力育む

桐生大学付属中学校（久保田信一郎校長）が今年度、民間企業から出された課題（ミッション）に対し、生徒たちが調査や聞き取りなどをしながら解決策を考えるキャリア教育に臨んでいる。2、3年生29人が六つのグループをつくり、大手企業が出した難問に自分たちなりの答えを導き出すべく格闘している。

取り組みは、教育支援業「教育と探求社」（本社東京都）のプログラムを導入して行っているもので、県内では同校のみ。現実社会と連動しながら考え、表現することで創造性や生きる力を育むのが狙い。NPO法人キッズバレイ（星野麻実代表理事）が協力する。

今年度はオムロン、カルビー、クレディセゾン、大和ハウス工業、テレビ東京、富士通が参画。各社のミッションに参加校の生徒たちが挑み、提案をまとめ、10分間の制限時間でプレゼンテーションする。来年2月には全国大会も予定されている。

企業担当者と議論を交わす桐生大学付属中学校の生徒たち（同校で）

企業の担当者と実際に会ってやりとりできるのが特徴。9日には大和ハウス工業の社員が訪れ、課題として示された「超高齢化社会に夢のある未来を作り出す型破りな土地活用サービス」に対する提案内容を議論し合った。

同社担当の男女5人の生徒たちは、桐生市の高齢化率が約34%に達している現状を踏まえ、「高齢者だけでなく自分たちの未来もよくする交流の場」の視点で考えたアイデアをぶつけた。

福田享教頭は「思考力や表現力を伸ばすため、通年でできる体験型プログラムを探していた。『対話しながら考える』ができている」と語る。大和ハウスCSR部の松木瑠美子さんは「新しいものを生み出したり、答えのないものを追求する生徒の姿から気づきがあり、刺激にもなる」と参画の利点を述べる。

22日には校内発表を予定。その先の全国大会は1社につき150から200の参加が見込まれ、出場できるのは各10チームの狭き門だ。

交通・労災事故防止に向け一丸

トラック協会桐生支部

ラック協会の篠原淳一さんが講師となり、事故発生のメカニズムを解説。プロドライバー表彰も行われ、金賞に穴原健次さん（新鮮便）、銀賞に吉田哲也さん（北関東運輸）、

みどり市社協に車いすを寄贈

雪印メグミルク協会青年部

群馬雪印メグミルク協会青年部（早川陽久部長）は9日、みどり市笠懸町鹿のみどり市社会福祉協議会を訪れ、車いす1台を寄贈した。

乳製品の宅配事業を展開する若手経営者9人でつくる同部は、社会貢献活動として毎年、寄付や車いすの寄贈を行っている。

車いすの寄贈は、乳製品詰め合わせ「チャリティーセット」の収益金で実施。みどり市社協、渋川市社協、安中市の高齢者福祉施設

藤生常務㊨に車いすを手渡す早川さん㊥と萩原さん

News Flash ニュース フラッシュ

新国立競技場で起工式

2020年東京五輪・パラリンピックのメイン会場となる東京都新宿区の新国立競技場の建設予定地で11日、起工式が行われた。出席した安倍晋三首相は「東京五輪を世界一の大会にしないといけない。新しい国立競技場が無事竣工（しゅんこう）し、新時代の文化、スポーツを発信する拠点となることを祈念する」とあいさつした。

駆け付け警護きょうから

南スーダンの国連平和維持活動（PKO）に派遣された陸上自衛隊は、第10次隊から11次隊に指揮権が移り、安全保障関連法に基づく「駆け付け警護」の新任務実施が12日、可能になった。

「一つの中国」に縛られず

【ワシントン時事】トランプ次期米大統領は11日放送されたFOXテレビの番組で、中国本土と台湾は不可分の領土だとする「一つの中国」原則を米国が維持していくかは、中国の貿易や外交政策次第だと述べた。トランプ氏と台湾の蔡英文総統との電話会談後、ペンス次期副大統領は米国の中台政策に変更はないと述べたが、これと異なる見解で、中国側の反発を招きそうだ。

楽しい演奏で華やかに彩られ、深夜まで続いた。医学生理学賞を受賞した大隅良典・東京工業大栄誉教授（71）は「多くのことを教えてくれた酵母に感謝したい」とスピーチ。一連の行事のクライマックスとなる最高の一夜を過ごした。